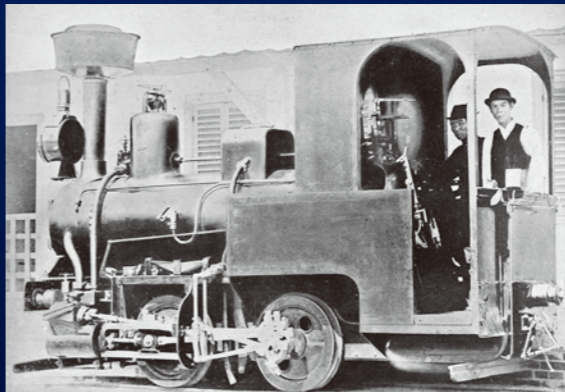




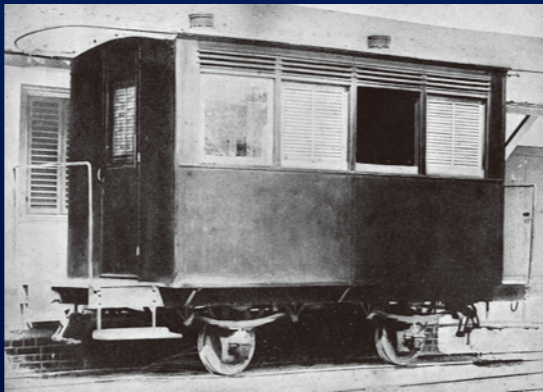
伊予鉄歴史写真館

伊予鉄道

125年の 移りゆく風景



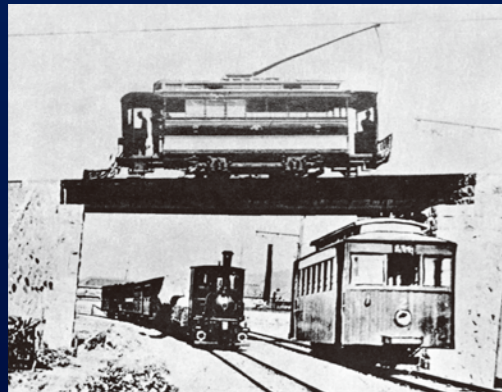
輸入当時のドイツ・ミュンヘンのクラウス社製1号機関車。陸揚げ後の記念撮影といわれている。(明治21年)



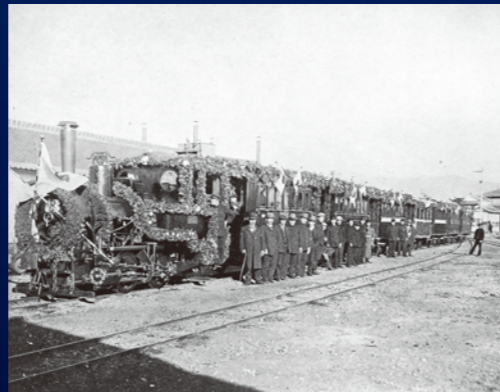
ドイツ・オーバーハウゼン市から組み立てたまま木箱に入れ送られてきた鋼鉄製の客車1両12人乗り。(明治21年)



明治30年頃 道後駅を発車する7号機関車。ソロバン玉に似た煙突が人目をひいた。



大正初期の六軒家立体交差点を通過する伊予鉄道の蒸気機関車と電車(下)と松山電気軌道の電車(上)。



明治43年 鉄道院総裁を歓迎して装飾した蒸気機関車。



明治41年頃の郡中線 新川-郡中間を走る蒸気機関車。



明治36年10月 皇太子殿下(大正天皇)が乗られた16号客車。中央は帽子置き台。



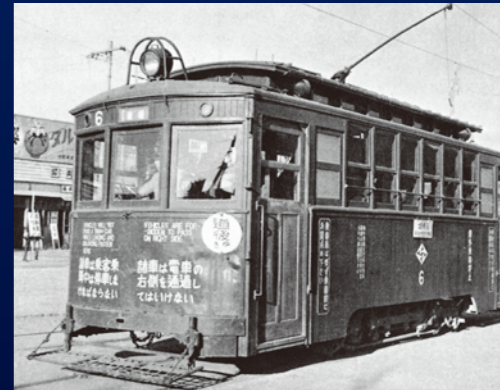
昭和46年 ターミナルデパート「いよてつそごう」
開店を祝って走る花電車。



昭和28年 実り豊かな松山平野を長い長い客車
に鈴なりの客を乗せて走る横河原線機関車。



昭和28年2月 市駅を出発して中の川を渡る
12号機関車。



昭和26年 英文入りの車体表示が占領下時代
を示している。